

こんにちは 健保組合です！

「大阪運輸株」

の巻

平成九年に年が改まって早くも三月月目に入りました。暦のうえでは、取材のちょうど一週間前が啓蟄でありましたので、われわれ人間社会でも、新しい社会での活躍を囑望されたフレッシュマンが充電期間から目覚めて動き出すころではなかったでしょうか。そんなことを思いながら訪問先である、市川市に所在する大阪運輸株式会社を走らせたのが三月十二日でした。

事業所訪問は、今回で二五回目を数えることになりましたが、幸いにも取材日は天候に恵まれることが多く、この日も、空は花曇りといった、グッドコンディションでした（今年降水量が少なく夏の水不足が今から危惧されているようですが……）。今日お邪魔した大阪運輸は、東京湾に面した市川市二俣新町という工業地帯の一角にあり、近くには、京葉道路、首都高速湾岸線、国道一四

号、国道三五七号といった首都圏の動脈が名を連ねており、後でお聞きした、大阪運輸の主たる業務である港湾運送や自動車貨物運送には絶好の立地条件を兼ね備えているといったところですよ。

健康保険組合の事務所から、その国道三五七号を北に進み、目的地に到着し、「こんにちは、健保組合です！」と総務部の事務室に入ると、「よくいらっしやいました。どうぞ、どうぞ」と声高らかに笑顔で私たちを出迎えてくださったのが、五味秀太郎社長でした。自ら応接室に案内してくださり、とても気さくなお人柄とお見受けしました。

しばし雑談の後、中原部長（現業担当）、五味課長（総務担当）の両名が同席してくださり取材が始まりました。

取材は、事務局から現況報告を申し上げ、そして最初の話題に入りま

した。
きわめて低い医療費は
検診制度をフルに
活用することによる成果

大阪運輸は非常に医療費の低い事業所（健康保険組合では毎月皆さんからお預かりしている健康保険料と医療費との比較をしております、そのデータ分析を実施しております。医療費の占める割合の高低の原因は、年齢給料、家族の状況等が大きく影響しています）です。それも、同じような環境の事業所にはみられない低い数値を示しておりますので、そのあたりをお聞きできたらとお尋ねすることにしました。

五味社長は、「自分の社内のことしかわからないので医療費の高低の基準は難しいところだが、安全と衛生を一体化し、徹底した啓蒙活動をしている」とおっしゃいました。「健康保険組合の検診制度をフルに活用してほぼ一〇〇%の検診受診率を念頭においている。自らが健康管理にめざめるように仕向けることが大切」と中原部長が続けられました。

前述したデータ分析により、検診事業へ積極的に参加され、受診率の高い事業所は、ある程度の期間を経

す。健保が主催する事業所対抗野球大会に第一回から出場して下さり、戦果は、優勝をはじめとしためざましいものがあります。「だんだん年をとってきて恥ずかしい結果にならないければいいが」と五味社長は謙遜されましたが、そのプレーやグラウンドマナーは他の参加チームへの影響が大であることは周知のことです。

従業員を大切にすることが 幅広い事業展開、 社の発展につながる

話題は、大阪運輸の社史に移行し、事務局から「なぜ、千葉にあつて大阪運輸なのか？」という素朴な疑問を投げかけて始まりました。

昭和三十九年当時、隣接する大阪セメントとともに現在の敷地を購入し、その子会社として設立されたとのこと。かつては、セメントの運搬を七〇%程度手がけていたが、その後、時代の趨勢により現在は関係がなくなつたものの、大阪運輸という名称が定着したということ、社名変更にかかるコストを考え、愛着のある名のまま推移しているとのことでした。

創業以来、三〇数年が経過した現

在、関東一円を舞台に、港湾運送、倉庫業、貨物自動車運送事業、湾岸荷役事業等、顧客の立場に立った経営理念のもと、幅広く事業展開されているようです。

次に、従業員の方々の福利厚生等についてお話をうかがいました。賃金の面では、企業が利益を生めば従業員に還元するといった考えのもと、「良い仕事をしてもらうためには、それなりの待遇を考える。そうすることによって、さらに利潤を生むのだ」と五味社長はおっしゃいました。経理を担当する部門と衝突することもあるそうですが、「人は宝」と従業員の方々を大切に思っておられ、社員の皆さんもそれに応えておられるところに社の発展があるのでしょう。

また、年二回ゴルフコンペを開催しておられ、『いくつ会』（いくつ叩いたのかわからない、ということからつけられたとのこと）という会をつくり、従業員の皆さんの親睦を深められているそうです。

五味社長ももちろん参加され、優勝を虎視眈々と狙っておられるようでした。

こうして、求心力をもった五味社長の経営者としての厳しさと温和さ

が同居する人柄に引き込まれるようにして時間が流れ、今日の取材を終えることになりました。

冒頭の雑談のなかで、五味社長が厳しい健保財政を憂慮され、少子化対策や今後の健保組合の在り方等、独自のお考えをアドバイスくださったこと。また、ご多忙のなか、取材にご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございます。

◆ ◆ ◆
今年、杉の生育状態や去年の猛暑を反映して花粉の量が最大のようなですが、花粉症の皆さん、もう少しの辛抱です頑張ってください。それから……、桜の開花が例年より早いです。そろそろお花見の計画で職場は持ちきりではないかと思いますが、三寒四温という言葉があるように寒暖の差が激しい昨今、かせなど召されぬよう皆さん気をつけてください。



五味社長を中心に、中原部長(右)と五味課長(左)